

平野駅(JR大和路線)②

加美郷と家康軍も訪れた奥田邸へ

加美駅(JR大和路線) 新加美駅(JRおおさか東線)

「大阪あそび歩マップ集」
その3 No.145

JR平野駅

平野界隈は大阪と奈良との主要交通路で、古戦場の跡も少なくありません。正覚寺の合戦や大坂の陣ゆかりの地などをめぐってみましょう。

①陽南寺

開基は不詳ですが、かつては正覚寺塔頭のひとつと伝えられ、あるいは南之坊の跡ではないかともいわれています。隣接する旭神社境内からは僧が合掌したように見える珊瑚製の長さ約3センチの煙草のパイプに似た物が118個も出土しました。中央に貫孔が器用にあげられており、紐で連ねて数珠に使ったのではないかといわれています。

②正覚廃寺(東之坊)

天長2年(825)、弘法大師の創建といわれます。本尊は弘法大師自作の十一面観音菩薩と伝えられ、境内は四町四方あって二十一間四面の観音堂、金堂、講堂、六時堂、山門、回廊に、東之坊、中之坊、池之坊などの六坊の支院を有する大伽藍であったといわれています。楠木正成も武運長久祈願で、何度も参詣したといいますが、明応2年(1493)の正覚寺の合戦で焼失し、廃寺となりました。その後、東之坊だけが浄土宗知恩院の末寺として現存し、門前に「正覚寺遺蹟」の碑が建っています。

③畠山政長の墓

管領・畠山持国(1398~1455)の甥・政長(1442~93)が河内平定に乗り出したところ、明応2年(1493)、持国の孫・義豊(1469~99)、細川政元(1466~1507)らに襲われて敗北、火を放って自害

した正覚寺の合戦の古戦場です。



④奥田邸

奥田家は楠木氏の流れを汲む豪農です。大坂の陣で家康が大坂城を攻める際に、ここで食事をとったという逸話があります。約1000坪(約3300平方メートル)もの広大な敷地に、江戸時代初期に建てられた主屋、表門、乾蔵、旧綿蔵、納屋、米蔵(北棟)、米蔵(南棟)などがあり、国の重要文化財に指定されています。毎月第4日曜日のみ、邸内見学可能です(有料)。

⑤がんご平野郷屋敷・くらしの博物館

もとは鞍作村の豪農・辻元家の屋敷で江戸前期の建築といえます。中に「くらしの博物館」があり、辻元家が代々使用してきた道具、什器のほか、兆殿司作『飛鯉之図』、伊藤若冲作『水鳥』などの掛け軸、骨董品の数々を展示しています。



⑥菅原神社

創建年代は不詳です。鬼門除けの天神さまとして崇敬され、参拝者は境内の土砂を頂いて持ち帰り、自宅の鬼門に撒いておくという風習があります。

JR加美駅 JR新加美駅

